

「聖教類研究会」活動報告

文責 佐竹隆信

本研究会は、川崎大師教学研究所が所蔵する聖教の整理、並びにその研究を目的とし、平成27年に発足した。

研究会のメンバーは以下の通り。

- ・川崎大師教学研究所前所長 福田亮成（研究会代表）
- ・川崎大師教学研究所研究員 駒井信勝
- ・川崎大師教学研究所研究員 別所弘淳
- ・川崎大師教学研究所研究員 鈴木晋雄
- ・川崎大師平間寺教学課課員 佐竹隆信

本年（令和4年）は、前年に引き続き義剛（?～1715）撰『釈論打集類聚』をテキストとして、翻刻・書き下し作業の完成を目指した。しかし「COVID-19」（新型コロナウイルス感染症）の流行に伴い、資料をつき合わせての研究会開催が困難となり、大幅な遅れを余儀なくされた（本年は未開催）。

『羯磨文談義』研究会 活動報告

文責 佐竹隆信

本研究会は、『羯磨文談義』の研究を目的として、平成29年に発足した。

研究会のメンバーは以下の通り。

- ・川崎大師教学研究所研究員・大正大学非常勤講師 別所弘淳
(研究会代表)
- ・大正大学名誉教授 苫米地誠一
- ・龍谷大学准教授 大谷由香
- ・川崎大師平間寺教学課課員 佐竹隆信
- ・大正大学大学院博士後期課程満期退学 荒谷友美(旧姓：池田)

昨年に引き続き、本研究会では大正大学図書館所蔵本(旧平等心王院所蔵本)を底本とし、西大寺所蔵本、川崎大師教学研究所所蔵本(旧新大仏寺所蔵本)、現光寺所蔵本(真言宗智山派:京都・木津川市)を対校本として、翻刻・校訂作業を進めている。

現在は一応の翻刻が終わり、研究会全員により西大寺本・川崎大師本・現光寺本との校異を確認している段階である。また校訂作業が終了した段階で、内容の検討や訓読・加註作業を進めていくことを考えている。あわせて『国書総目録』に記された大谷大学所蔵本や高野山大学所蔵本の調査を検討している。

本年(令和4年)は「ZOOM」によるオンライン研究会の導入により、毎月一回程度の定期的な開催が可能となり、研究効率が飛躍的に向上した。これにより昨年に比べて『羯磨文談義』の翻刻校訂作業も順調に進んでいる。

今後もオンラインを中心として定期的に研究会を開き、より一層の研究進展に努めたい。